



# 三滝堂

coffee iPPO  
嶋村 一步 店主

大関川の上流にあるカフェ。清流の音や風を感じながら、板木で修業を積んだ店主の淹れる香り高い本格コーヒーを味わうことができる。



案内人



三たてそば すぎやま  
及川 清 店主

三滝堂ふれあい公園のすぐ近く、静かな里山にある木造の店舗で、店主こだわりのひきたて・打ちたて・ゆでたての「三たてそば」が楽しめる。

三滝堂ふれあい公園は、東和町米谷地区の山間を流れる大関川沿いに広がる、およそ1700平方メートルの公園です。公園内の散策路にはサクラやクヌギなどの樹木が茂り、木漏れ日を感じながら美しい緑の下を散策することができます。川の流れは緩やかで、子どもたちが透き通る水の中を泳ぐ小さな魚を捕まえたり、膝まで水につかって石を拾ったりして、水遊びを楽しんでいます。ピクニックなどに利用できる芝生の広場もファミリーに人気。併設されているキャンプ場は、テントサイトのほか炊事棟なども完備しています。緑が鮮やかな夏の時期は、時には駐車場がいっぱいになるほど大勢の家族連れなどが訪れ、賑わいます。また、紅葉も鮮やかで季節に応じた楽しみ方ができることも魅力です。

三滝堂は、幅広い世代が楽しめるだけでなく、地域の子どものための自然体験学習の場としても利用されています。自然の恩恵を感じられる憩いの場。市内外、地域住民など多くの人から愛されている三滝堂。この自然を守るために、地元住民で環境保全活動を続けています。

## 国指定天然記念物 横山のウグイ生息地



案内人  
横山不動尊別当  
曹洞宗大徳寺  
橋 智法 住職

津山町横山の徳徳寺境内の御池は約430年前に今の形になったと言われています。湧き水のため四季を通じて水温が安定しており、多数のウグイが生息しています。これは、古くから不動尊に仕える神聖な魚として地域の人々に愛護されてきました。

ウグイは陽春の5月頃から加茂川を下り、産卵を終えた8月頃に池に帰ってきます。冬になると、水が沸き出る場所には魚たちが集まり肩を寄せ合う、直径1メートルの「魚だまり」を見ることが出来ます。豊かな自然から湧き出る伏流水、地域が守り伝えてきた清らかな水の流れは、まるで心身までもが浄化されるような美しさです。



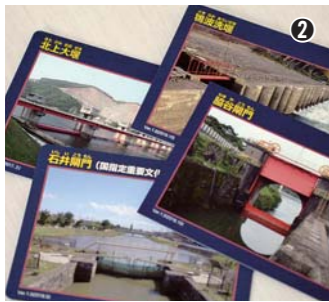
北上川は、岩手県岩手町にある「弓張の泉」を源流に、岩手県と宮城県を流れる一級河川で、登米市の東側を北から南に流れています。流路延長24.9キロ、流域面積1万1500平方キロは東北最大、全国4番目の河川です。流域には広大で肥沃な登米耕土が形成され、県内でも有数の穀倉地帯で、基幹産業である農業の発展を支えています。

「昔の楽しかったきれいな北上川に戻りたい」という思いの仲間が集まり、平成15年に発足した「とよま北上川

「三たてそば」は、船着き場の除草や清掃ボランティア、稚魚放流などさまざまな活動を行っています。特に北上川クルージングは小学生から大人まで楽しめるプログラム。雄大な景色を眺めながら川の歴史を学ぶことができます。

平成24年には、継続的な活動に対し国土交通省東北地方整備局から河川愛護功績感謝状が授与されました。

これからも、多くの人に川の魅力を再認識してほしいと考えています。



① 悠々と流れる北上川を下るクルージング。登米船着場を出発し、ゴール地点では北上川と旧北上川をつなぐ土木遺産「脇谷閘門」を船で通過する体験ができる。② クルージング体験をした子どもたちには、北上川のことを学べるレアカード「北上川下流河川構造物カード」をプレゼント。



案内人  
とよま北上川かっぱの会  
(左から) 舟嶋 茂昭さん、佐々木 正紘さん、大友 修平さん、河崎 清美さん

身近にある宝が見つかる  
アクアツーリズム

登米市のキャッチフレーズ「夢・大地みんなが愛する水の里」に象徴される豊かな自然。今回紹介できませんでしたが、東和町鱒淵川のゲンジボタル生息地や米山町と豊里町にまたがる桜の名所平筒沼、旧北上川沿いに整備された豊里水辺の公園など、市内には魅力的な水辺がまだまだたくさんあります。

恵みも災いももたらす自然。今年も地震や大雨により各地で被害が発生しました。しかし、地域の人たちは災害に向き合い、その都度立ち上がり、自然と共存しています。地域の人たちが大切に守り伝える景色、水が育んだ暮らしの知恵や文化、多種多様な生き物たち。水辺を訪ねていけば、新たな価値の発見ができるかもしれません。そして、水辺を次世代につなげようという取り組みがたくさんの人たちとの出会いは、笑顔と元気が生まれる地域づくりにつながるのではないのでしょうか。市は、豊かな水辺空間を生かしたまちづくりを進めています。

水が取り持つ縁を探しに、水の里を巡ってみませんか。